## 目標達成計画

作成日 : 平成26年10月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】								
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間			
1	9	ご利用者のADL、IADLの状態や趣味や好みについては、事業所の様式(『ケアプラン資料3』)で情報収集に努めているが、ご利用者が今後行ってみたい場所ややってみたいこと、今後の暮らしの希望や意向(未来への希望)の把握についても、より一層進めていきたい。	ご利用者が行ってみたい場所ややってみたいこと、今後の暮らしの希望や意向の把握に努め、日常的な支援へとつなげていく。	『ケアプラン資料3』に、ADLの状態等だけではなく、個々人で言ってみたい場所ややってみたいこと、今後の暮らしの希望等について記入する欄を設け、随時記入する。また、記入した事に対して、可能な事から支援していく。	6 か月			
2	13	避難訓練等は、夜間火災を想定して年2回程行っているが、訓練時に専門家(消防署員等)を招いて、アドバイスを頂いたことはない。ホーム内だけではなく、知見を有する方にアドバイスやご意見がいただければ心強いと思っている。	実際に知見を有する方にお越しいただき、避 難訓練等についてアドバイスを頂きたい。	消防署に、避難訓練時に来て頂けないか連絡 を入れてみる。	1 か月	消防署に依頼してみたが、避難訓練の指導等に関する役目は、防火管理者があたる為、管内では実際に署員が指導に行くことは無いとの返答であった。		
3	13	"	"	避難訓練時等にお越しいただいてアドバイスを もらえないか、地区消防団等と連絡を取り、依頼 してみる。		地域消防団は、地域住民の高 齢化により十分機能していない とのこと。		
4					か月			
5					か月			

事業所名: グループホームさつき 作成 日: 平成 26年 10月 31日

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
		取り組んだ内容				
		,	( 該当するものすべてに 印)			
1		0				
			利用者へサービス評価について説明した			
	サービス評価の事前準備	0	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした			
		0	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した			
			その他( )			
2		0	自己評価を職員全員が実施した			
		0	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った			
	自己評価の実施	0	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った			
		0	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った			
			その他( )			
3		0	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった			
	 外部評価(訪問調査当日) 	0	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた			
		0	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た			
			その他( )			
4			運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った			
			利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った			
	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	0	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った			
		0	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った			
			その他( )			
5			職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した			
			「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)			
	サービス評価の活用	0	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)			
		0	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)			
			その他(			